



右から鉢(中)、(小)、(大)

鉢(大) 一点 径三四・〇 高一八・〇

鉢(中) 一点 径三一・〇 高一六・七

鉢(小) 一点 径二八・三 高一五・七

三つ組の大鉢である。大中小で口径は約三センチずつ、高さは約一センチずつ異なり、重ね合わせることができる。外面、内面とも植物の図様はすべて異なる。この器だけ木箱が新調されており、当時の用途を示す箱書がないため、料理や菓子を盛る、一般的な鉢としては使われなかった可能性も考えられる。いずれにしても、内面の絵付けも非常によく残っており、本食器のなかでも最も豪華な器である。



鉢(大)の見込み(真上から覗いた様子)



鉢(大)



この写真は、鉢(大)の側面を12分割で撮影、12カットを1枚の画像として合成したもの。上部と下部では直径の長さが異なるため、下部は上部の直径に合わせるため、実際の絵付けよりもやや引き延ばされている。



鉢(中)



同上反対面



鉢(小)



同上反対面

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出版を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

佳麗なる近代京焼 ― 有栖川宮家伝来、幹山伝七の逸品

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 65

編集 宮内庁三の丸尚蔵館

制作 野崎印刷紙業株式会社

翻訳 黒川廣子

発行 宮内庁

平成二十六年三月二十一日発行

© 2014, The Museum of the Imperial Collections